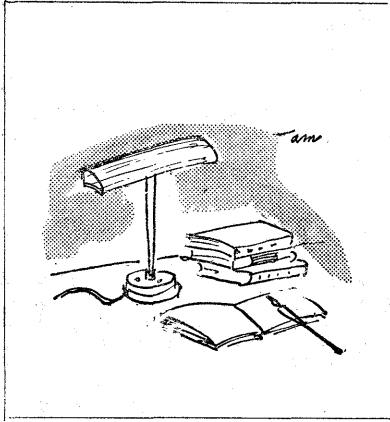


言語

研究 協議

子 子 明 平
治 京 康
関 石 松
会 司 師
黒 村 村



司会 では只今から皆様方と御一緒に幼稚園における言語の問題について、いろいろと討議をかさねていきたいと存じます。日頃皆様がお持ちになっていらっしゃる幼児の言語についての問題、御意見などを伺いたいと存じますのでなたからでもどうぞ御発言下さい。

語尾について

東京太田 先生は子どもにどの位発表させる要求をもつたらよいでしょうか。幼稚園にあっては、おしまいまではつきりいうようにしているところと、そうでないところとあるようですが……私のところでは『これなあに？』と聞かれたら『花』と答える程度にしております。

司会 『花です』と答えさせる方針と、そうでない方針と先生によって違うと思えますけれど、一語文のままか、それとも言葉を文章にもっていくかということだと思いますが、その点では私も迷っております。今のところは『……してね』『……したの』というようないき方をしております。『……しました』『……です』というようにしてよいかどうか疑問をもちっております。文章体でいわせるようにしていらっしゃる先生挙手なさって下さいませでしょうか。

——一人手を上げる。——

東京根岸 下町のため、とても乱暴な言葉を使うお子さんが多くて、それが精神的にも影響するのではないかと思ひ、言葉のしつけはなるべく気をつけてやっております。たとえばおべんとうのあと風呂敷に包むときにも、『つんで』といいますけれど、それは『つんで下さい』といわせるようにしております。

伊藤 私の方は田舎のため、おべんとうの時お湯をくばると『先生お湯』といいますし、紙が欲しいときには『かみ』と申します。でもなるべく言葉をおしまいまではつきりというように指導しております。

東京太田 心理学の方で三才までの幼児は『お湯』というだけで、お湯頂戴も、お湯はいらぬいも、様々な感情・欲求を表現しているのだと習ったように覚えております。それが五才児でしたらば、文章として終までいうのが普通だというように記憶しておりますが……。

新潟 地方では大人でもそういう人がおります。

石黒 東京でもそういう傾向はあると思ひます。私は三才児を受け持っておりますが、やはりお湯が欲しいときは『お湯』と申しますし、ブランコがこいでほしいときは『こいで』というお子さんが多いのですが、して欲しいと

きは『お湯頂戴』『こいで頂戴』と言うようにさせておられます。はじめは注意すると要求をやめてしまつて言わない人もおりました。が、次第に皆言えるようになって来ました。これは私は小さい時から、ものごとを人に頼むときには、頼むような言葉づかいをした方がよいのではないかと考えております。

○私の幼稚園でも『です』といわせるようにしておりますが、朝礼の時など『今日のお天気はどうですか』とききますと、『お天気』と答えておりましたが、この頃では『お天気です』と言えるようになってきました。

司会 言葉の教育についての実例をもう少し伺いたいと存じますが……。

高橋 言葉に気をつけると自然と生活態度も変つて来るように思います。大きくなつてから急によくしようとしても無理でやはり小さい時からしつけていきたいと思ひます。

東京 言葉が文章としてとても不完全で、動詞が先になつたり、主語があつたりするお子さんがおります。簡単な言葉の場合にはわかるのですけれど、長くて複雑になりますと何だかわからなくなつてしまひます。大きくなつてから困ると思ひ、今のうちに何とかしたいと思つているのですけれど、皆様どうお考えになるでしょうか。

司会 こういふ場合、何とか上手にしゃべれ

るように治す方法はございますか。

名古屋 五才児には順番に皆に話をさせるようにしております。そして聞いている子どもにあつて批判させております。そうするうちに自然と聞く態度もできるようになります。

二〇分位に三・四人話をして、あとで誰のお話が面白かつたとか、またわからなかつた点などを子どもに質問させるようにしてありますので、どういうように話したらよいかも次第にわかるようになっていくと思ひます。司会 文章なども皆から質問されて、自然とわかるいところに気がつくようになるかもしれませんね。

おの字の問題

秩父 私共の幼稚園では先達で『お』の問題について話合いました。あるお母様から子どもが家のへいのことを『おへい』といつてくれるけれど、幼稚園ではどの程度『お』をつけて話しているのかと質問されたことが動機となつたのですが……。

司会 『お』の字の問題では、東京都の公立の幼稚園でも大きくとりあげております。ここでは『お』をつけてよいものといけないものとの基準をつくつて、それにそつてやつておられました。私共の幼稚園でも研究しておりますが、まだはつきりした基準はできておりません。ただ外来語は『お』はつけないこ

とにして、あとは今のところ先生自身の判断に基いて話しております。

私個人としては『おこしかけましよう』という方も『いすにこしかけましよう』という方がよいように考えております。

東京中野 新聞や雑誌等によく幼稚園では『お』をつけすぎるといふようなことがでておりますが、小学校では『集れ』とか『ここへこい』等と使つていらつしやいます。小学校の生徒さんに対する言葉と、幼稚園の小さい弱々しいお子さんに対する言葉とは自ら違つて来ようではないかと思つております。小さいお子さんには親しい気持や優しさを持つてゐる程度なら『お』をつけてよいと考えております。

東京 私が保育の仕事をしたしてから二年目になりますが、いつでも気にかかつているのが『お』の問題です。私は男だから特に敏感に響いているのかも知れませんが、幼稚園の先生は殆んど女であり、女の人は普段から『お』をたくさんつけて話しています。ひどのいは『おトイレ』などというのがありますが、それで女の先生達の『お』に反感を感じながらも、普段いっしょにいと自然と私にも『お』が移つてしまふことなどあるのです。が、まして相手子どもだつたらもつと『お』の影響が多いのではないのでしょうか。例えば

『お集り』などといわなくても、『集まりましょう』という先生の言葉と表情でじゅうぶんな子どもは集ると思います。

東京 たいだいまの『お』の問題に関連して一言、二才から三才にかけての幼児は手のことをおててといつても差し使えないと思います。四、五才児になりましたら手でよいと思えます。それから『幼児の教育内容とその指導』の八三頁に、教師のものいい方として、『(六) 否定的な言い方はなるべくしないで、肯定的な表現の方を多くとり入れるようにつとめる。(七) 命令形や禁止句はなるべく使わないように気をつける。』とありますが、更にそれから一歩進めて先生はたとえば『……して頂戴』というよりも『……しましょう』というような子ども自らひきださせるような表現を用いた方がよいと思えます。

○ 私などは小さい時からのくせで『お』をつけないとどうもしゃべりにくいような感じがあります。お母様方も日常の『お』をつける生活から治していかなければならないのではないのでしょうか。

司会 松村先生、この問題について何か御意見をうかがわせていただきたいと存じます。
松村明 私は、実は小さい子どものことは、あまりよくわからないのですけれど、この『お』のことは昨今よくとりあげられている問

題ですね。これは、子どもに親しみをもってつける程度ならかまわないでしょうが、しかし過剰になっては困ると思います。先生が生活態度全般に親しみをもっているならば、『お』がつかなくても子どもとうちとけて話合うことができると思います。やたらに使いすぎる必要はないでしょうね。

秩父 『お』の問題ではこの間から先生達と話し合つて気をつけるようにしましたので、変なところにまでつけないようになりました。例えば『おかたづけをしましょう』ではなく『かたづけましょう』というように気をつけておられます。ともすると先生が『お』をつけて話しがちになりますけれど、『お』をつけないでも子どもに親しみをもって話すことは出来ますね。

東京太田 体験談として申し上げたいと思えます。一昨年卒業生を送る前に、小学校の先生と懇談会をしたことがあります。その時小学校の先生に、幼稚園の先生達は『お』をやたらとつけて話すけれど、国語を知らないのじゃありませんか、といわれました。そうやたらとつけていたわけではありませんが、きつと無意識のうちに使っていたのですね。それから幼稚園の先生達と心して話すようになりましたので、むやみとつけないようになりまして。今ではもう『お』のことはとりたてて

問題にする程でなくなっております。山形 言語活動を主にして、それだけ切りはなすことはできませんけれど、日頃先生方が特に正しく指導していると思われることや、誘導の仕方などをうかがいたいと思います。

言語の積極的指導について

司会 言語活動を活潑にするための機会や指導の仕方について、いかがでしょうか。

田園調布 朝礼をしてその時一週間の目標をきめておられますが、先週は『言葉をきれいにしましょう』と決めました。お子さん達もきかない乱暴な言葉をお互に注意しあっており、一週間でとてもきれいになりました。一人一人だともあまりきかない言葉は使わなくても、群衆になると使いやすくなるようですよ、みなの前であらかじめ目標としてきめておくと、とても一生けんめいよい言葉づかいをしようという気をつけるものですね。

司会 乱暴な言葉にも随分問題があるようですね。

大場 創作童話ということをやっております。例えば亀の子を買って来て、亀の子について何か話をさせる問題をこちらで投げ、それに子どもをのせていき、子どもの間で童話を作らせてみます。普段無口で困っているような子どもでも、実物を目の前にしての喜びから、とてもよく話してくれたりします。子

どもの創作した童話の中には、喜びもあれば、驚きもある、そして話もある。また観察もあります。これは言語活動の面でもよく参考になるのではないかと思います。

東京中野 スピーカーの設備を使って、朝の一定の時間に一組ずつまわって歩き、交たい話をさせておられます。自分達の声がよくその組まで流れるので一生けんめいにし、発表力もついたようです。

秩父 紙芝居製作をやっております。はじめはやさしい紙芝居を見せたあとで、その中で自分の好きな場面をかかせ、次には童話を話してその話の中で印象に残った場面を絵にかき、それを皆でえらんで一貫したのとして紙芝居にして、お子さんがお話をするような行き方をしております。

例えば七匹の子山羊の話をした時などは、殆んどのお子さんが時計の中に一番小さい子山羊がかくれているところをかいたりしておりましたが……。

石黒 いつでも一応既製の紙芝居とか童話などをお子さんの前でなさってから、紙芝居製作にとりかかるような方針でいらっしゃるのでしょうか。

秩父 ええ、そのようにしております。
石黒 でしたらこの次なさいます時には、お子さん達の生活経験を基礎にしたもの、例え

ば遠足とか運動会のようなものを材料にして話合って、紙芝居製作をなさってみたらいかでしよう。きつと今までの次の段階として、あらかじめすじのあるものとはちがった本当にお子さん達の中から生れた新しい紙芝居ができ上るのではないかと思いますけれど……。

東京中野 私共の園では中流以上の家庭のお子さんが殆んどですので、入園当初からお母様方の文字への関心が強く、また兄弟の間で早くからおぼえたりしています。三分の一位のお子さん達は大意知っていますし、また興味をもっている者も多く、せつかく芽ばえているものを阻止するのどうかしらと思いい、二学期末から三学期頃まで強制的にならない程度に、絵といっしょに教えております。

秩父 では今度はそういうようなものを扱ってみようと思います。
横浜 自由あそびの時になるべく多くお子さんと遊ぶようにし、機会を持つようにしています。『何でしよう』という疑問を出していくと、始めは話せなかつたお子さんも数回すると、よく知っていることにぶつかった時などは話しますし、勇気を得ていくことが段々に出来るようです。能力よりも勇気の方が大事だと言えるかも知れませんね。

東京中野 一度いたしました……。
埼玉深谷 小学校の方と連絡をおとりになったのですか。
東京中野 四月に小学校の低学年の先生と話合いましたが、小学校では幼稚園側に自分の名前が書ける程度に指導してほしいと言っておられました。クレオンに書いてある字をみて覚えている子どももいますね。卒業の時には、だいたい皆が名前を書ける程度になっております。

横浜 最近幼稚園では言語指導を大きく考えていますが、あるところではワークブックを使って文字指導をしていると聞いたりしています。また何も使わなくても文字を指導していらっしゃる幼稚園はあると思えますが、文字の指導はどうしたらよいのでしょうか。

東京太田 字を教えることは幼稚園の教育の目標に沿わないと思つていたしております。近所の幼稚園で本を使って教えているところがあって、そちらの方が程度が高いといわれたことあるため、昨年一度実験的に文字

文字の指導について
司会 文字の指導を積極的にしていらっしゃる幼稚園はありませんでしょうか。

—— 挙手した人なし ——

を教えてみたことがあります。でもそれを行なっている時間が、どんなに幼児の生活の他に必要な面をゆがめているかということを感じたために以後いたしておりません。

東京中野 私のところでも強制はいたしておりません。ただ、十年前の子どもと今の子どもとは文字に対する要求が違って来ているのではないのでしょうか。ある程度時代の交遷などと相まって、文字を教えていくようにしてよいと思えます。

私共のところではそれを遊びの中で扱っておりますが、二学期末から三学期にかけては、字があるといういろいろと読んで嬉しくしております。

司会 こちらの幼稚園でも割合と家庭環境がそろっておりますため、特殊かと思っておりますけれど、一応文字指導について説明していただきます。

石黒 こちらの幼稚園の文字指導の方針は『幼児の教育内容とその指導』の百十頁に述べてありますからそれを申し上げます。

『知能がじゅうぶん発達している子どもは、文字や数のことは幼稚園時代には習得しなくても、小学校にはいってから教えられて、すぐ覚えることが可能であるので、保育の中では特別に取り扱わなくてもよい。ただ、文字や数に興味をもったり、間違っても覚えこんだ

りした子どもには正しく教えることが必要である。

幼稚園生活の間に身につけていきたいのは、自分の姓名をひらがなで書かれたものが読めるようになることである。これだけは集団生活においてはたいせつなことであり、得ていきたいと思う。そして次第に自分の名前が書けるようになればよい。(しかし、別に強要すべきではない)』

以上のような教育方針をとっております。なお一言申させていただきたく思いますが、子どもは文字を文字としておぼえるのではなくて、絵の中の一つとしておぼえていくのだと思います。幼稚園ではおとなの観念で字を字として指導することは、しなくてもよいように思っております。

三重 うたを教える時に、字を書いておぼえた方がよいという意見を聞いたことがあります。

司会 私は現在五才児を受け持っておりますが、家庭で教えこまないで下さいといいたい程みな字をよく知っております。六月に絵をかくてそれに名前のかける人はいかいてもらなさいと申しましたら、全員がかけてました。江東区富士幼 私連のところは下町ですが、今までは小学校と連絡をとって文字の指導をするということはしておりませんでした。

最近父兄の中で文字を教えてほしいという考えをもっている人が増えて来たようです。それで父兄に一応幼稚園の教育方針を話した上で、文字指導についてもいろいろと考えております。

大場 私のところは教育大学の実験幼稚園となっております。園の行き方としては、幼稚園教育というものは、遊びと感受性を豊かにすることが主な目的だとしております。その考えを入園の際には父兄によく話し、またカリキュラムを毎月家庭に配っております。そのかわり、子どもには毎日『今日は幼稚園で何を習って来たの?』と聞くことはして欲しくない、父兄会の度に話しております。幼稚園ではとかく、遊戯・絵・歌などの表面的なことばかりを重要視する傾向が見えますが、もつと遊びと感受性を豊かにすることを強調していきたいと思っております。

司会 では最後に、ここにお集りの先生方に向先生から言語教育に関して一言ずつ伺いたいと存じます。

松村康平 さき程の問題ですが、同僚に話して、わからせる必要がありますね。親しみは別の形で出す事が出来ます。父兄の御意見も聞いてみる必要がありますね。今の段階では、そのままいけば、小学校との間にギャップが出来ると思えます。(31頁に続く)

二学期の終り頃にしたいたいと思つている。

2、普通の公立小学校の場合は、自分の名前がわかる程度でよいが、特殊小学校へ入学を希望する場合にはそれでははいれない。かなり高度のテストがあり、幼稚園で教えないと家庭で方々のテストに連れていく。大学の附属小学校でも同様で、心理学者の意見と実際とは、矛盾しているようだ。

3、三年前には自分の名前ぐらいを教えてみた。二年前からは、ひらがなを教え、昨年からは、連絡会の結果教えなかったが、こんどは小学校の進み方が早くて子供がまごついてしまった。無理に教えこまずに、自ら事物をおして教えている。

4、自然な動機から、例えば看板や名前などから教えていく。

5、幼稚園は知識を教えるところではなく、生活経験を豊かにしていくところである。ある段階にまで発達している子供にはよいが、そうでない子供に無理にやる必要はないと思ふ。

菊池　ここでは、小学校からも何も要求してこないし、文字を文字として一斉に教えるということはやっておりません。しかし、生活を豊かにし、又刺戟を与えたりして、子供たちが自分から自発的に、文字を覚えたいと思ふようになってくれることを願ひながら、絶

えず環境を工夫したり、しむけ方を工夫したりしています。

例えば、黒板に日や曜日を書いておく、とか携帯品置場に各幼児の名前を貼っておく、などもこの気持からですし、又七夕祭りの時など、短冊に字を書いてお星様に上げると字が上手になるんですって、などと伝説を聞かせながら子供たちの文字に対しての関心をいくらかでも目覚めさせようとは絶えずいたします。

×

×

×

×

(41頁よりつゞく)

松村明　親しみを乱雑な言葉づかいによって増すというのは、一応、言葉づかいと切離して考えるべきで、先生方は、地方の特色もありましょうから一概には言えませんが、出来るだけ正しい言葉で話して頂きたいと思ひます。

司会　両先生にはお忙がしい中を、又、先生方も最後まで御熱心に御発言・御討議を頂きまして有意義に終ることが出来、まことにありがとうございます。

(21頁よりつゞく)

○これから卒業までの一年をどの様に指導したらよいか。

とにかくどうやら遊べるようになったのでうれしく思うが、これからの一年間は更に一歩進んだ交友の指導をしなくてはならないと思ふ。

いつも限られたメンバーのグループであつてはいけな。

性格的にも能力的にもかたよらぬ為。

席を時々変えたり、あそびの指導を工夫したり、五才児なら出来るグループの協同作業など、いろいろ考えていかなければならないと思ふ。

そして、いつも友達と一緒に遊べば遊びも仕事も遣入れない、というのではなく必要に応じては、一人でも落着いてすることが出来るし、遊ぶ時はどんどんどの仲間にも遣入って遊べるというようになる事を理想としていきたいと思つている。

以上つまらない事ばかり述べたが、過去一年間の、しかも自分の組だけの考察なので、必ずしも正確でないかもしれない事をお断りしておく。(お茶の水大附属幼稚園教諭)